

咽頭結膜熱(プール熱)

咽頭結膜熱(プール熱)は、発熱、のどの痛み、目の充血などが主な症状の感染症です。例年、6月頃から増加し始め、7～8月に流行のピークがみられます。主に5歳以下の乳幼児がかかります。原因となるアデノウイルスには数種類あるため、何度もかかる可能性があります。プールの水を介して感染することが多いので「プール熱」とよばれていますが、塩素濃度管理が徹底されているプールであれば、感染はほとんどないと考えられています。

★症状★

- 潜伏期間は5～7日間程度です。
- 1日の間に39～40度の高熱が4～5日ほど続きます。
- 扁桃腺(へんとうせん)が腫れて、のどに痛みがあります。
- 両目または片目が真っ赤に充血し、目やにが出ます。
- この他、頭痛、食欲不振、全身のだるさなどの症状があります。

★治療方法など★

有効な薬はなく、症状を和らげる治療(対症療法)となります。



★感染経路と予防方法★

原因であるアデノウイルスは感染力が強く、会話等で飛んだしぶきを吸い込んだり、手や指を介して口に入ったりすることで感染します。かからないためには、大人も子どもも流水と石けんでしっかりと手を洗い、うがいをしましょう。家族や兄弟等への感染予防のために、タオルの共有はやめましょう。また、プールに入った後のシャワーを適切に行ないましょう。

症状が治まった後も約1箇月間、便や尿の中にウイルスが含まれています。便や尿に触れた後は、しっかり手を洗いましょう。

☆正しい手洗い方法の紹介☆ (京都市こどもの感染症 「手洗いの方法」)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/tearai.pdf>

※咽頭結膜熱は、学校保健安全法により、主な症状がなくなった後、2日を経過するまで出席停止となります。

気になる症状がある場合はすぐにかかりつけの医療機関を受診しましょう！



★お問合せ先★

○京都市保健福祉局衛生環境研究所 微生物部門
(TEL:075-606-2676 FAX:075-606-2671)

(平成28年5月編集)